

# 天童市議会だより

2020  
11.1  
No.170  
TENDO



## 9月定例会

- 2 一般質問 16人
- 11 予算特別委員会 令和2年度補正予算
- 12 決算特別委員会 令和元年度決算
- 17 提出された議案とその結果
- 20 市民の声・12月定例会の日程（予定）

▲津山児童クラブの子どもたちは、地域に支えられ、健やかに生活しています。新しい市立津山公民館も使って、バドミントンなどを楽しみながらのびのびと毎日楽しく遊んでいます。

インターネットで  
議会中継

天童市議会 で 検索

[www.city.tendo.yamagata.jp](http://www.city.tendo.yamagata.jp)



# 市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、9月3日・4日の2日間の日程で、16人の議員が行いました。

令和2年7月豪雨災害の対応やコロナ禍からの脱却に向けた取り組みについて、また産後ケア事業等について市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。

## 質問者と質問事項 (☆印は会派名)

### ★日本共産党天童市議団

石垣昭一 議員

\* 令和2年7月豪雨における内水被害対策について

伊藤和子 議員

\* 長期休校後、子どもたちの教育環境への対応は  
\* 介護保険法施行20年で介護は充実されたのか

### ★清新会

鈴木照一 議員

\* 山本市政3期12年と今後の展望

佐藤孝一 議員

\* ウイズコロナ・アフターコロナにおける新たな観光振興策の取り組みについて

古澤義弘 議員

\* 防犯・交通安全対策について

佐藤俊弥 議員

\* 寺津地域の住民が水害時、歩いて避難できる公共施設の設置を

\* 受動喫煙防止の取り組み方について

\* 危険な違法薬物から自分を守る知識の必要性について

武田正二 議員

\* 感染症対策として

\* 共生社会の実現を

遠藤敬知 議員

\* 放課後児童クラブのあり方について

### ★てんとう創生の会

熊澤光史 議員

\* 令和2年7月豪雨災害の検証と見直しについて

笹原隆義 議員

\* 防災について

\* コロナ禍における施策について

三宅和広 議員

\* 企業版ふるさと納税について

遠藤喜昭 議員

\* コロナ禍からの脱却について

\* 子どもたちが夢を追い続けていける環境整備について

### ★無党派

五十嵐浩之 議員

\* NHKの放送受信料免除申請書の今後の取り扱いについて  
\* 市が管理、所有するテレビ放送受信機器のNHKとの放送受信契約状況について

野口さつき 議員

\* 母子を守る産前・産後支援の拡充について

\* 防災の心構えと避難準備について

狩野佳和 議員

\* サテライト大学の誘致について

\* インフルエンザ予防接種の助成について

松田光也 議員

\* 山形浄化センターに関わる汚水溢水被害について

\* 令和2年7月豪雨災害を検証して

# 9 月 定 例 会

## 審査日程

令和2年度第6回市議会定例会（9月定例会）は、8月31日から9月18日までの19日間の会期で開かれました。

市長提出の人事議案6件については初日の本会議で採決が行われました。そのほか、令和元年度決算議案11件、令和2年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案9件及び条例議案等7件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、最終日の本会議で採決が行われました。

また、定例会最終日には市長提出の予算議案2件及び契約議案1件、委員会提出の議案3件が提出され採決が行われました。

(採決結果は17ページに掲載してあります。)

月 日	内 容
8/31(月)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、決算・予算特別委員会の設置など)
9/3(木) 9/4(金)	本会議 (市政に関する一般質問)
9/7(月)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査) 環境福祉常任委員会 (付託案件の審査)
9/8(火)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
9/9(水) 9/10(木) 9/11(金)	決算特別委員会 (付託案件の審査)
9/14(月)	決算特別委員会 (付託案件の審査、討論、表決)
9/15(火)	予算特別委員会 (付託案件の審査、討論、表決)
9/18(金)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)



**7月豪雨における内水被害対策は**

石垣 昭一 議員

7月の豪雨では須川排水

樋門を閉めたことにより、都川の内水が住宅の浸水被害をもたらす結果となっている。排水ポンプ車の配置とともに遊水地の整備や浚渫等、都川の抜本的な治水対策を求めるのだが市長の考えを伺いたい。

**山本市長** 本市では、内水被害の拡大防止や浸水の早期排除のため、排水ポンプ車による内水対策を行っている。排水ポンプ車等の出動は、気象庁などの発表、

河川の水位などの情報や現地における巡視報告等により、優先度を考慮し、判断

している。

この度の豪雨では、須川の急激な水位上昇により、排水作業における安全性の確保が困難となり、また、須川への排水が制限され作業を実施できない状況であった。今般の豪雨災害に直面し、改めて総合的な治水対策の重要性を認識したところである。

寺津地区の内水対策については、本市が実施する都川の支障木の伐採及び土砂

の浚渫や、国及び県が管理する河川の流下断面の確保等の適正な維持管理について要望を行い、総合的な治水対策についても今後、調査研究を進めていく。

**市としても被災者支援を**

県では災害見舞金を拡充する。本市も床下浸水といった対象外を設けず、実情に合った支援をすべきと思うが考えを伺いたい。

**山本市長** 本市では天童市弔慰及び見舞に関する規程に基づき床上浸水の被害に遭われた方へ見舞金を交付している。

県でも交付範囲や交付額を見直し、復旧・修繕への支援策を検討している。水害の場合は被災の状況に関わらず、防疫が必要なことから、消毒液を配布し消毒方法を指導してきた。今後も、被災状況に合わせて、支援を行っていきたい。



**長期休校後の子どもたちの教育環境整備は**

伊藤 和子 議員

新型コロナウイルス感染症の発生で、小中学校は長期休校を余儀なくされ、休校後、新しい生活様式が実践されている。現在の教室

の中で新しい生活様式に対応できるのか。長期休校による学習の遅れと格差への対応は。また、教職員の仕

事量が増えている中、県の働き方改革プランの進捗状況も踏まえ教員増に対する教育委員会の考えを伺う。

**相澤教育長** 令和2年度限定で9月1日から全小中学校に、32人の学習指導員とスクールサポートスタッフを児童・生徒数に合わせて

配置している。感染症対策や学習指導の充実のために活用したい。

休校による学習の遅れが心配されたが、年間計画を大幅に見直した結果、今年度学習すべき内容は年度内に履修できる見込みである。一人ひとりの子どもたちにきめ細かい指導を行うために、指導する側の数が多い方がよい。定数改善を要望していきたい。働き方改革は改善している。

**介護保険導入から20年利用しやすい制度か**

介護保険制度ができて20年。たびたび、制度が改正され、介護軽度者が介護予防・日常生活支援総合事業に移行されている。介護事業所は人材確保に苦慮しているが本市の現状は。

**山本市長** 介護保険は、高齢者増とも相まって、サービス利用が3倍に増加するなど身近な社会保障制度と

して定着している。総合事業利用者は年々増加し、高齢者の状況や環境に応じたサービスが提供され、介護の負担軽減が図られていると考えている。今後とも必要なサービスの提供を受けられる体制づくりに努める。介護人材不足の傾向は今後も続くものと懸念している。関係機関の協力を得ながら人材確保につながる取り組みを行う。

- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と



**山本市政4期目に向けた思い  
市政3期12年と今後の展望は**

鈴木 新一 議員

12年前、現職市長の任期満了直前の辞任で始まった市長選で、激しい選挙戦を制し誕生した山本市長であった。市政運営の方針は、「子育て支援」「観光・ものづくり」「スポーツ・文化・健康づくり」の3つの日本一への挑戦、そして

り、頻発する自然災害対策、人口減少社会で少子高齢化対策、モンテディオ山形の新スタジアム誘致等、課題が山積する中、これまでの市政3期12年を振り返るとともに、コロナ禍における4期目に向けた思いを伺う。

て、その挑戦を支える市役所改革と安全・安心なまちづくりである。今年は一貫して変わることなく迎えた3期12年の最終年であったが、新型コロナウイルス感染症により状況は一変した。新型コロナウイルス感染症対策が最重要課題とな

ができた。これらは、一定の成果があったものと捉えているが、その評価は、市民から判断していただくものと考えている。

た。新型コロナウイルス感染症により状況は一変した。新型コロナウイルス感染症対策が最重要課題とな

までの考え方が通用しないことも数多く出てくると思う。本市の更なる高みを目指した今後4年間の市政運営に、挑戦させていただきたいと思っている。

に、スマートインターチェンジの新設やモンテディオ山形の新スタジアム誘致等は、大きな課題であり、市民の皆様からさまざまな意見を伺いながら、全力で取り組んでいきたい。



**ウィズコロナ・アフターコロナの  
観光振興策の取り組みは**

佐藤 孝一 議員

新型コロナウイルス感染症の影響により本市の宿泊施設や観光施設は多大な影響を受けている。首都圏の感染状況をみると、いまだ収束にはほど遠く観光客や交流人口の増加は期待できない。新型コロナの収束を見据え、本市の観光関連の

振興策の取り組みについて伺いたい。

また、天童市の顔である天童駅の環境整備と、観光拠点である将棋資料館の資料展示等の充実について伺いたい。

**山本市長** 誘客事業と受入体制整備事業が柱になって

いる。誘客事業は、現在、国・県のキャンペーンを活用しながら、本市独自の泊まって農援キャンペーンで農業・観光の双方を支援している。受入体制整備事業は、案内標識の多言語化や公衆無線LANの整備をしてきた。現在は、安心して観光を楽しめるよう、新たな生活様式に対応するための感染防止対策や、新しい源泉を観光スポットとして整備する取り組みに助成

し、受け入れ態勢の強化を図っている。今後とも観光物産協会や天童温泉協同組合などの関係各所とともに対応していく。

ンターが連携してさらなる天童市の観光PRに努める。**大木経済部長** 将棋資料館については、藤井八段が2冠を達成されたのを記念して、お祝いの垂れ幕を設置する。また、タイトル戦の対局で使われた将棋駒の展示が可能か日本将棋連盟等と相談していく。

整備する取り組みに助成

また、今年「もりくな」を観光拠点として整備した。陸の玄関口である「もりくな」と、JＲの玄関口である天童駅の観光情報セ



▲藤井八段 2冠達成お祝いの垂れ幕



### 防犯・交通安全対策 防犯カメラの設置状況は

古澤 義弘 議員

駅の駐輪場や公園には、市の管理責任において安全維持のための防犯カメラを設置しているが、交通事故や犯罪を抑止する観点から、通学路や市街地通路にも設置が必要と思うが、市の考えを伺いたい。

山本市長 本市では、現在市内4つの駅周辺や主要な公園などに54基の防犯カメラを設置しており、犯罪抑止力の向上に効果的であり、安全・安心なまちづくりに大きな役割を果たして

いると考える。防犯カメラは商店や住宅での設置も進んでいることから、優先箇所を見極め、警察や地域、学校と連携して今後とも計画的に設置し、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを推進していく。

また、ドライブレコーダーの映像は、防犯カメラとともに、事件の解決に貢献する証拠や材料になる事例が多くなっていると認識している。今年1月に国土交通省が発表したドライブレコーダーの搭載率は、全体で45・9割であった。搭載率は今後さらに増えていると見込まれ、防犯対策に大きな可能性があると考えている。ドライブレコーダーを活用した安全・安心なまちづくりを天童警察署と連携しながら、市民に協力をお願いし、官民一体となった取り組みを、先進事例を参考にして進めていく。

### 防災について

7月の豪雨によるコロナ禍での避難所運営の状況について伺いたい。

山本市長 市内9カ所で指定避難所を開設し、749人の方が避難した。感染対策として、3密の回避や、避難所の衛生管理、避難者の健康管理等を基本として運営を行った。



### 寺津地区に歩いて避難できる 公共施設設置を

佐藤 俊弥 議員

数年前から百年に一度の災害が毎年起きています。寺津地区の避難所は市立高掬公民館などとなっているため、県道277号線を東へ行くことになる。雨風の中、自分の足で避難所まで行けることが、常に安心して生活できることにつなが

るのではないかと。山本市長 水害時、寺津地区の避難先が市立高掬公民館や第三中学校となり、住民の方々には不便をかけている。歩いて避難できる公共施設の設置については、寺津地区周辺は浸水想定区域が広がっており、場所の

選定が難しいと考えています。避難行動について普段から家族で話をしていただきたい。本市では家族での避難行動の検討を促進するため、避難行動判定フローなどの情報を、市報やホームページを活用し継続して周知を図っていく。

た。元警察官は高校2年生から大麻を使用していたとの供述に、法を犯している認識はなかったものと推測できる。児童・生徒に命を大切にすることを思いやること、善悪の判断や社会ルールを、どのように伝えて指導していくのか伺いたい。

未然防止を目的とした早い段階からの教育の必要性が高まっている。道徳的規範意識を幼いうちから身につけて、社会ルールの中で自己実現を図る力を身につけさせる教育を推進していきたい。

### 危険な薬物から自分を守る知識を

県内の20歳の警察官が大麻取締法違反で逮捕され

相澤教育長 青少年を中心に、大麻をはじめとする違法薬物の乱用が拡大している。社会問題化しており、



「ダメ。ゼッタイ。」普及運動啓発ポスター



## COVID-19関連の市民アンケート実施を

武田 正二 議員

新型コロナウイルス感染症が令和2年1月に発生してから8カ月。感染不安や経済的打撃を受け、地域交流もままならない状況である。

本市でもさまざまな対応・対策を行ってきたが、

今後の対策をさらに効果的

なものとするために、また

新たな感染症発生時にも対策が活かせるよう、市民の不安や困窮内容等を把握すべく「市民アンケート調査」をすべきと思うが、市の考えを伺う。

山本市長 新型コロナウイルス感染症に係る対策事業



## 公正でクラブ間格差の無い市内統一の運営基準を

遠藤 敬知 議員

放課後児童クラブの運営状況は、各地域の実情に沿ったものである一方、その事が保育時間や保育料等、クラブ間のサービスマ格差が生じる要因となっており、利用者への公平性が保たれていない。また、支援員の雇用条件も各クラブ

で労働環境に格差があり、支援員の雇用難や離職につながっている。児童や保護者、支援員にとって公平・公正でクラブ間格差の無い「同一保育・同一負担」と「同一労働・同一賃金」を基本とした市内統一の運営基準の策定が行政の責任で

については、日々状況が変化していることから、アンケートを実施している間に社会情勢が変化し、住民が求める施策が大きく変わってしまう可能性がある。事態が収束した後には、アンケート調査の実施の必要性を改めて判断したい。

## 障害者差別解消のための条例制定を

平成28年4月に「障害者差別解消法」や「山形県障害

がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」が施行され5年目となる。

国・県では、施行状況の把握や内容の見直しを行っているが、県民や事業所に広く周知されておらず、十分に理解されているとは言えない現状である。これまでに県内13市町村で条例が制定された。ぜひ、本市においても「障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」を制定すべき

と考えるが市の考えを伺いたい。

桃園健康福祉部長 第3次天童市障がい者プランの策定から3年、来年はちょうど中間の4年目を迎える。本市としても、一層の障がい理由とする差別の解消の推進と普及啓発を図るため、今後、関係者からご意見をいただきながら、令和3年度中の条例制定を目指していきたい。

あると考えるがどうか。

山本市長 保育時間や保育料は、各クラブの設立経緯

や地域の実情を踏まえ設定されたもの。また、支援員の雇用条件は、クラブごとの規定に基づき個別に雇用契約を結んでおり、処遇面は一律となっていない。統一した運営基準の策定は、天童市学童保育連絡協議会（市連協）で検討委員会を設置しており、市も職員を派遣して支援していく。

## 外部監査に耐え得る組織体制の構築を

各クラブの運営委員は、

地域の充て職等が多く、権限や責任の所在も不明瞭で曖昧な運営体である。このような任意団体が多額な公金の受け皿になっている。公益的な団体として外部の会計監査にも耐え得る組織体制にすべきである。市は、実施主体として市連協を法人化へ導くべきでは。

山本市長 各クラブの運営

団体の多くは、地域の代表者等で組織された任意団体であり、リスク管理や社会的信用の向上のために、何らかの法人格を取得することが望ましいと考える。近年、予算規模も大きくなり、安定した運営のため内部統制も含めた組織強化が必要となっている。今後、各クラブの意向を丁寧に確認し、連携しながら必要な支援をしていきたい。



令和2年7月豪雨災害の  
検証と見直しを

熊澤光史 議員

本市全体の防災力をより一層高めるために、行政だけでなく、避難者や現場従事者、関係協力団体等と相互に7月豪雨災害の検証を行い、見直しを行う必要があるのでは。

**山本市長** 激甚化する自然災害に対応すべく、今回の

対応で避難所に寄せられた

声やまちづくり懇談会での意見及び地域で情報伝達や要支援者の支援にあたった自主防災会へのアンケート結果等を検証し、地域防災力の強化を図る。また、住民一人ひとりが主体的に行動し、自らの命は自ら守る



学校を避難所とした時の  
運営体制の構築を

笹原隆義 議員

7月28日豪雨では課題が多く残された。学校を避難所とした際の運営が曖昧で明確にすべき。かつ被害・災害状況を市民は知りたがっていたが、情報提供ができていなかったのではありません。また、ドローンを使った

効果的な被害情報の収集や、消防本部や消防団が巡回して収集した画像による情報伝達も必要ではないか。

**山本市長** 学校を避難所として利用する場合、具体的な取り決めはない。備品の配置や校長会に依頼するなど周知・連携を図っている。

ことができよう、防災体制の充実強化に取り組む。

雨水幹線の現状確認  
と見直しを

頻発する豪雨災害に対し、現在の雨水幹線の現状確認を進め、雨水幹線の整備計画の見直しを図り、下流域の水害を抑える必要があるのではないかと。また、本市独自で倉津川の公式雨量観測所の設置を検討する必要があるのでは。

**佐藤総務部長** 今回の豪雨

では、掲示板を避難所に設置して避難者への情報を提供したが、十分な対応とまではいかなかったため、検証して次に備えたい。ドローンの活用は、現時点で安全な飛行が担保できないので考えていない。

**松田消防長** 現場の状況が

分かる画像は不足していたので、情報伝達のやり方を再考していく。

**山本市長** 本市では、昭和45年度から下水道事業による市街地の雨水対策として、1時間当たり38ミリの降雨に対する雨水排除を目標とし雨水幹線の整備を進めている。今後は、下水道事業計画による雨水施設の整備完了を目指すとともに、農林事業による農村防災減災に係る調査を進め、さまざまな対策を検討し豪雨災害への対応を図る。また、天童地区を流れる



▲7月豪雨、市役所前倉津川の様子

医療福祉従事者に  
支援を

コロナ禍で休日も行動が制約されている医療・福祉従事者に支援してはどうか。支援には、需要が落ち込んでいる本市の農畜産物や観光を使うことはできないか。また、市長の感謝メッセージや子どもたちの応援メッセージで、彼らを敬意・激励しては。成り手不足の介護を知る機会にも

つながると思うがどうか。

**山本市長** 国で慰労金を支給しており、医療・福祉従事者への個別支援は考えていない。医療・福祉サービスの提供の継続と、新しい生活様式に基づく行動を徹底していただき感謝している。

**桃園健康福祉部長** 地域経

済への支援は、すでにさまざまな分野で取り組んでいるので、医療・福祉従事者の支援とは別と考えている。



### 企業版ふるさと納税を積極的に活用してはどうか

三宅和広 議員

企業版ふるさと納税制度は、地方公共団体が作成した地方創生のための事業に対して、企業が寄附した際に税額を控除する制度である。国では、地方への資金の流れを高める観点から今年度に税制を改正し、税額控除割合を従来の3割から

6割に引き上げるなどの大幅な見直しを行った。また、政府は、企業が地域活性化に貢献するため、社員を自治体へ派遣した場合に法人税などを軽減する「人材版ふるさと納税」の創設を検討している。企業版ふるさと納税制度を活用

するもので、人材派遣の費用を寄附として組み入れるものである。企業版ふるさと納税は、今後増えていくものと予想される。本市としても企業版ふるさと納税を積極的に活用していく必要があるのではないかと、企業が寄附を決める際には、事業の自身を見て判断すると思われる。支援したくなる事業を立案する必要が有ると考えるが、市の考えを伺いたい。

山本市長 企業版ふるさと納税を活用すれば、企業とのパートナーシップにより戦略的な事業展開が可能と考える。現在取り組んでいる事業のほかにも、第2期天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定と併せて事業を検討していきたい。パートナーとなる企業を探し出せるかは、市がどういう事業を企画するかが勝負となる。全庁を挙げてさまざまなアイデアを出し合

### 企業版ふるさと納税

法人関係税が控除される。例えば1,000万円を寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減される。

地方を応援する企業であることをPRできる。

元年度の全国の寄附額は約34億円。増加傾向にある。



### コロナ禍からの地域コミュニティ回復にむけて

遠藤喜昭 議員

コロナ禍で市や地域のイベント行事がなくなり、地域のコミュニティが停滞している。地域の核である市立公民館は、コロナ禍で今後どのようにコミュニティを維持し、また人材育成を進めていくのか。

市立公民館を拠点とした地域づくり活動は、全国的にも高く評価されている。新型コロナウイルスと共存する新しい地域活動の展開を積極的に進めていく。また、市立公民館を拠点とする各種団体等と連携を図り、地域の交流活動を支えていく。さらに、これまで

継続してきた事業で簡略化できるもの、また地域コミュニティのためになくてはならない事業の精査を呼びかけていく。地域のリーダーを含めた人づくりは重要であり、これまで明治大学・天童市連携講座等で人材育成や地域づくりにつながる講座を実施してきた。公民館活動の中で、それぞれの世代に合った事業を工夫を凝らし取り組んでいきたい。

### 人材育成に具体的な実践を望む

市民憲章は、共生社会に不可欠な心構えを教えている。憲章から地域毎に実践したい項目を選択し、実践活動と呼び掛けできないか。また、会議等の合意形成や相互理解をサポートし、参加者の活性化、協働を促進させ、やる気を引き出す手法にファシリテーションがある。ひとづくり

のきっかけに市立公民館活動の中で活かせないか。相澤教育長 これまでも市民憲章に沿った公民館活動を実践してきた。地域づくり推進委員会でも、協働で取り組めるものについて話し合いを深めていきたい。ファシリテーションは、明治大学・天童市連携講座「てんどう未来塾」で取り組んだ。これからの社会に必要なリーダーの姿であり活用していただきたい。



**NHKの放送受信料免除申請書の今後の取り扱い**  
五十嵐 浩之 議員

生活保護世帯等が申請するNHK放送受信料免除申請書は、一段目に「放送受信契約書」、二段目に「放送受信料免除申請書」とあり、申請者に契約書であるとの誤解や不信感を与えてしまうように感じられる。間違いないにより申請者

が不利益を被らないように契約に係る部分を削除して運用することはできないのか、3月定例会に続き再度伺う。

護法に基づく実施要領により適切に業務を行っている。あくまでも免除申請に該当することの証明のみを行っており、契約に関する業務は行っていない。したがって現在の事務手続きを変更するつもりはない。

**本市とNHKとの受信契約状況は**

最高裁でワンセグ機能付き携帯電話、東京地裁でワンセグ機能付きカーナビで

NHKを視聴する場合、NHKと受信契約が必要との判決が確定している。一般家庭は保有台数や種類に関係なく、基本的にテレビ1契約のみだが、事業所等はテレビ、ワンセグ機能付き携帯電話及びカーナビ等は1台につき1契約が基本である。本市が管理・所有するテレビ、ワンセグ機能付き携帯電話等のNHKとの契約状況を伺う。

日現在の契約状況は、テレビ100台中契約台数84台で受信料免除が16台、ワンセグ機能付き携帯電話が8台中契約台数は0台、公用車に搭載しているワンセグ及びフルセグ機能付きカーナビは11台中契約台数は0台である。これら未契約機器でテレビを視聴する機会がないものは、可能であればテレビ放送の受信機能を停止して対応していく。



**母子を守る産前・産後支援の拡充を**  
野口 さつき 議員

国は、産後ケア事業の実施を市町村の努力義務とした改正母子保健法を公布した。市は、子育て支援事業計画を策定したが、今後の産前・産後支援の拡充は。また、サポートを必要とする方へ、産前・産後ヘルパー派遣事業を拡大しては

した産前・産後支援に努めるなど、一層、妊産婦に寄り添った切れ目のない支援を提供していきたい。

く。産後つつは、相談等の事業を含めて、妊産婦に寄り添いながら丁寧な対応を行っていく。

スト等の提案を総合的に検討していきたい。マイタイムライン等も含め、7月豪雨の経験を活かした防災意識について伝えていくとともに地域の防災リーダー育成も支援していきたい。

山本市長 本市では平成29年度から産後ケア事業として、短期入所・通所事業に取り組んできた。今後は事業対象の拡大を図り、母子保健コーディネーターによる妊娠・出産・育児期を通

桃園健康福祉部長 母子保健法改正に伴い、対象を1年以内の方とする改正も決まっております。令和3年度から事業拡大を目指しています。

**防災の心構えと避難準備の周知方法は**

非常用持ち出し袋チェックリストの全戸配布やマイタイムラインの普及とリー

桃園健康福祉部長 救急避難カードは、緊急時に医療機関や避難支援者に、搬送された要援護者の持病や投薬等の情報を的確に伝えるためのものである。改めて市民に周知していく。

野口 さつき 議員

佐藤総務部長 チェックリ

ドの普及は。

改めて



## サテライト大学を誘致すべきでないか

狩野 佳和 議員

サテライト大学はキャンパス方式でなく、定員100人程の通信大学の延長のような方式である。首都圏の大学と大型スクリーンを使ってオンラインで結び授業を受ける方式である。コロナ禍で多くの大学では卒業式も入学式も行われず、リモート授業が主になった。新しい基準では、多くの人が一つの場所で授業を受けるのは困難である。自宅から通って首都圏の大学の学士を取得できるシステムは必要と考える。

**山本市長** 本市では明治大学との連携事業を継続して



## 山形浄化センターにかかわる汚水溢水被害対策は

松田 光也 議員

あつてはならない事故がなぜ起きたのか。本市はもちろん県も不明水の抑制対策に真剣に取り組むべきと思うが、今後の対応について伺う。

**山本市長** 流域下水道を管理する県に、速やかな復旧と溢水事故の原因究明、再

発防止の要望書を提出した。県からは、大雨による浄化センターの処理能力を大幅に上回る流入があったとの説明と、今後、不明水対策について関係市町と連携するとともに、浄化センターの能力増強等を計画を策定し、実施する必要があ



▲持ち上げられたマンホール

おり、この取り組みを発展させることが現実的である。また、山形市には分野の異なる4つの大学があり、関係を活かし知的財産をさまざまな形で享受できるように連携を模索したい。

## 旧給食センター跡地に明大サテライト校を

コロナ禍で東京圏の人口は減っており、大手企業も地方に本社機能を移そうとしている。大学誘致には莫

大な予算が掛かるが、サテライト校は市立公民館ほどの建物で、4600平方メートルの旧学校給食センター跡地が適地である。明治大学のサテライト校を誘致しては、

建物約5億円のほか、総額約10億円を本市で負担し、明治大学に来ていただく。まんざら夢物語を語っているつもりはない。山形、鶴岡、酒田、米沢には大学があり、次は天童市である。県内で明治大学と同

## 令和2年7月豪雨災害を検証して

本市全体の被害総額は。災害に強いまちづくりについて市長の考えを伺う。

**山本市長** 農作物の被害額が8000万円、施設等被害の対応額は、農林業被害が4億6680万円、道路施設等被害が約450万円、公園等被害が約680万円、下水道被害が約900万円の合計で約4億87

じ講義を受けたいニーズはあるはずだ。

**総務部長** アンテナを高くし、可能性について情報収集する。

**山本市長** 明治大学としての方針、考え方もあるので機会があれば聞いてみる。



▲旧学校給食センター跡地

10万円、農作物被害額と施設等被害対応額を合わせて約5億6710万円となる。今後新たに被害が確認されたものは、適切に対応する。

市民の生命や財産を守るため、地域防災体制の強化と国民保護・危機管理対策の推進、情報伝達手段の拡充を柱とし、災害に強いまちづくりを進めていく。

## 15億6252万4000円を 増額補正 364億8763万2000円に

一般会計・特別会計補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

### 移住定住ホームページを構築

**委員** 移住・定住促進に要する経費114万4000円の内容は。

**地方創生推進監** 現在は市のホームページの一部に移住定住のコーナーがあるが、移住定住に特化したホームページを作成する。地域おこし協力隊員と共に進め、子育て世代をターゲットとして、写真や動画などを多用した分かりやすいホームページを考えている。また、本市の支援制度や移住した人たちの暮らしの声なども届けるものになりたい。

### 新型コロナウイルス感染症のリスク回避

**委員** 新型コロナウイルス消毒作業委託料133万8000円の内容は。

**危機管理室長** 市有施設で新型コロナウイルスの感染者が確認された場合に、速やかに対応できるように予算

措置をするもの。未発生の場合、委託料の支出は発生しない。

### 介護人材確保の取り組み

**委員** 会計年度任用職員費用弁償32万7000円の内容は。

**地方創生推進監** 県が行う外国人介護人材と県内介護事業所とのマッチング事業のミャンマーでの説明会に、国際交流担当の地域おこし協力隊員1人が参加するための費用である。

新型コロナウイルスの状況により、延期や中止もあり得るが、現段階では、県が委託する事業者と一緒に参加し、天童市の情報を広くPRする考えである。

### 放課後児童クラブの施設整備工事費は

**委員** 放課後児童クラブの工事費2797万1000円の内容は。

**子育て支援課長** 天童中央第二・第五児童保育所、高

揃第二・第四児童クラブ建設予定地の地質調査をした結果、地盤が軟弱だったため、地盤改良工事を行う。

天童中央は杭を打つ柱状改良工事等で1457万5000円。高揃は軽量盛土材を敷き詰める地盤置換工事等で1339万6000円。



### 新型コロナウイルス関連消耗品の増強

**委員** 学校管理費消耗品費（小学校487万1000円・中学校336万円）の具体的内容は。

**教育次長** 主なものとして、アルコール消毒、せっけん、手袋、アクリル板などさまざまなものがある。必要物品は各学校から申請

してもらっている。

### 密にならないバス移動

**委員** 小学校の自動車借上料217万7000円の内容は。

**教育次長** 修学旅行や自然体験などで利用するバスの増便分である。3密を避け、十分なスペースを確保したバス移動にするための経費である。

### 先生の表情をしっかりと見れる環境を

**委員** 教育振興費消耗品費（小学校357万9000円・中学校48万5000円）の内容は。先日、小学校を訪問した際、新型コロナウイルス感染症防止に伴い、教員はマスクを着用していたが、表情が分からないという話もあった。今ほどのような状況か。

**教育次長** 今回の予算でフェイスシールドや透明なマスクも購入予定であるため、活用が見込まれる。



# 決算特別委員会

一般会計を含む11件を認定

令和元年度一般会計決算のほか、特別会計・企業会計決算は、決算特別委員会に付託し、審査された後、本会議において原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

## スクールソーシャルワーカー（SSW）

**委員** SSWを市が独自に1人配置したが、その活動内容は。

**学校教育課長** 教育・福祉の両分野の専門的知識を持ったSSWが不登校・児童虐待など課題解決に向けて細かく対応し、学校と家庭をつなぐ重要な役割を担っている。

市で採用した1人で、延べ934件の相談にあたったが、令和2年度は県から1人の派遣を受け、2人体制で業務にあたっている。8月までで延べ1621件の相談があった。

## 英検受験の合格率は

**委員** 中学2・3年生の英検受験料を全額補助しているが、具体的な合格率は。

**学校教育課長** 中学3年生で3級以上の合格率は、導入した平成28年度で19・9割だったが、令和元年度は

27・1割と年々向上している。将来的には、英検3級以上の実力を有する中学3年生が5割となることを目標としている。

## 学校給食の食物アレルギー対応

**委員** 食物アレルギーを持つ児童生徒数は。

**学校給食センター所長** 小学校194人、中学校92人、児童館5人の291人である。食物アレルギー原因ごとの延べ人数では、477人となる。今後も食物アレルギーを持つ児童生徒には、細かく対応していく。

## プレミアム付き商品券事業

**委員** 対象となる住民税非課税者1万37人のうち申請者4167人であった。申請率41・5割と低かった要因は。

**商工観光課長** 住民税非課税者と子育て世帯を対象に行われた。国の事業であり、制度が決められていた

部分もあった。市報で広報したが、申請手続きが煩雑で面倒だったようだ。また、プレミアム率が25割と低かったことも要因の一つと考えている。

## 病後児保育間に合っているのか

**委員** 病後児保育「きらきら」の利用が78人とあるが、断らざるを得なかった状況はなかったのか。また拡充の計画は。

**健康課長** 既に利用予約があったため、利用できないことが18件あった。病児・病後児保育は民間施設の充実もあり、「きらきら」の拡充は考えていない。民間施設では、その在園児でなくても利用できることを周知していきたい。

## 新生児難聴検査徹底を

**委員** 新生児が受ける聴覚検査を受けなかった子どもはいったか。

**健康課長** 未検者が2〜3

人いる。大事な検査であり、生後2日での検査の徹底のために、産科医療機関と連携を密にし、検査の周知を徹底する。

## ひとり親家庭等学習支援改善を

**委員** 会場が福祉センター1カ所だけだが、会場を増やし、実施回数を増やすことはできないか。

**子育て支援課長** 場所を増やすよりも、実施回数と対象を増やしてほしいとの意見があったため、令和2年度から実施回数を40回から50回に増やし、対象も小1年生からに拡大した。

## 危険ブロック塀の撤去進まず

**委員** 特に危険なブロック塀は何カ所残っているか。

**建設課長** 法令違反である2・2層以上の危険なブロック塀は当初39カ所あったが、3カ所の撤去が進み現在36カ所となっている。撤去が進まない状況であ

り、今後も危険なブロック塀の所有者を直接訪問し、万一倒壊し通行人に負傷を負わせた場合には所有者の責任になることを伝え、補修や撤去をお願いしていく。

### 少雪だった昨冬の市道の除雪費は

**委員** 稼働時間が昨年より大幅に減っているにもかかわらず、委託料が1億2500万円とそれほど減っていないがなぜか。

**建設課長** 除雪車が稼働した時間は8日間で82時間と大幅に減ったが、初期費用として、排雪場で使用する重機のリース料、除雪を委託する業者が準備する106台の重機リース料の一部の初期除雪費、保険、点検、排雪板やチェーンの着脱等に要する機械準備費、除雪に従事する連絡員の待機保証料などが必要である。

### ごみ・し尿収集処理事業

**委員** ごみの年間排出量が年々増加している。減量化のためにどのような対策を講じているのか。

**生活環境課長** もやせるごみと粗大ごみが増加し、特にもやせるごみが9割を占める。排出量増加は、共立衛生処理組合を構成する3市1町全体の傾向なので、全体で検討していきたい。本市独自では、3010運動に取り組んでいる。昨年度末、運動推進のコースターを作成したが、コロナ禍の影響で配布することができない状況だ。収束状況をみて、今後活用していきたい。

### ふるさと納税

**委員** ふるさと納税の寄附額が減ってきているが、その要因とこれからの取り組みはどのようなものか。

**ふるさと納税推進室長** 平成31年4月に国が返礼品の割合を3割に見直した中で、法の施行までに一部の自治体が多額の寄附を集めたことや、国の指導によりプレゼント事業を中止せざるを得なくなったこと、他自治体での災害支援に寄附が集まったことなどが要因と考える。令和元年度の寄附額は18億140万円ほどで、経費を差し引いた実収入は、9億9000万円ほどだった。

今後はさらなる寄附者の増を図るため、新たにふるさと納税の受付サイトを増やすなど対応していきたい。

### 収納チャネル拡大 利用状況は

**委員** スマホアプリを使っ

たスマホ収納の利用状況はどうなっているのか。

**納税課長** 令和元年5月からスマホ収納を開始した。市税、国民健康保険税、介護保険料合わせて480件の利用があった。今年度はすでに960件と増えている。今後に期待したい。他にも、企業向けで個人住民税特別徴収や法人市民税を納付できる共通納税システム(eLTAX)による電子収納も令和元年10月からスタートしている。

### 令和元年度 各会計の決算

(単位：万円 単位未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出	
一般会計	274億2,848	259億6,858	
特別会計	国民健康保険	63億6,847	62億454
	用地買収	228	30
	財産区	153	87
	介護保険	57億5,480	54億7,026
	市民墓地	823	157
	後期高齢者医療	7億1,469	6億9,446
	工業団地整備事業	3億3,119	3億3,021
計	131億8,119	127億220	
合計	406億967	386億7,078	

水道事業会計	当年度純利益	2億6,959万円
市民病院事業会計	当年度純利益	1億649万円
公共下水道事業会計	当年度純利益	4,251万円

### 決算特別委員会 正副委員長を互選

8月31日に開催された決算特別委員会において、委員長及び副委員長が互選されました。

**委員長** 遠藤喜昭  
**副委員長** 佐藤俊弥

なお、決算特別委員会は、議長及び監査委員を除く全議員で構成されています。

# 常任委員会 議案を審査しました

9月定例会では、議案7件と請願2件が常任委員会に審査付託されました。

また、最終日18日の本会議では、それぞれの委員長が審査状況について次のとおり報告しました。

## 総務教育

### 小中学校教育用 タブレット端末を整備

**教育次長** 国のGIGAスクール構想に基づき、容量32ギガバイト、画面サイズ10・2インチのタブレット端末を市内小中学校の児童生徒一人に1台整備するもので、児童生徒用に4907台、教師用に83台の合計4990台を取得するものである。併せて導入されるソフトウェアは、教師と児童生徒の間で資料のやり取りや提出された資料を画面で一覧表示できる授業支援ソフトのほか、ドリル教材の回答内容からAで理解

度を判定し、児童生徒に最適な出題を行う学習支援ソフトと閲覧サイトを制限するフィルタリングソフトを導入する。

**委員** タブレット端末はネットワークのある学校で使用し、自宅で使用することはないのか。

また、タブレットの使用に当たり、納入業者から運用の補助など支援があるか。

**教育次長** オフラインでも使用できる学習支援ソフトを選定したので、自宅に持ち帰って学習することも可能である。

運用支援は、各学校の担当者を集め、納入業者から端末やソフトウェアの内容について説明会を実施して

もらう。

## 環境福祉

### 保育施設

### 主食費・副食費 徴収免除規定を設定

**子育て支援課長** 幼児教育・保育の無償化に伴い、

これまで経過措置により国の基準を市の基準とみなしていた主食費及び副食費の徴収免除規定について、令和2年9月30日で経過措置の期限が切れることから、国の基準と同じ基準を条例に定めるもの。

具体的には3歳から5歳までの子どものうち、年収360万円未満相当の世帯の子ども及び第3子以降の

子どもの副食費について徴収しないことを定めるものである。また、満3歳未満児の主食費及び副食費は、従来どおり保育料に含まれるので、徴収しないことを定めるものである。

**委員** 滞納があった場合、どのような対応がなされるのか。

**子育て支援課長** 公立の場合、保育料と同様、市からの督促状や電話等で滞納解消に努めるが、私立の場合は各施設で対応する。



## 経済建設

### 市道の認定及び廃止

**建設課長** 山口西工業団地に新設された道路4路線を認定し、重複することとなる1路線を廃止する。長岡、高揃、干布の3地区において宅地分譲開発により整備される3路線を認定するものである。

**委員** 廃止することになる既存の日光東6号線の一部は、県が管理することになるのか。

**建設課長** 既存の日光東6号線は、山口西工業団地の整備に伴い分譲地区内に含まれる区間と、押切川に隣接している区間であり、押切川に隣接している区間については、河川管理用通路として位置づけられ、今後は河川管理者である山形県が管理することになる。

# 令和2年7月豪雨

## 被災箇所を現地視察

経済建設常任委員会

9月8日、経済建設常任委員会では令和2年7月豪雨災害の被災状況とその対応について経済部と建設部から説明を受けました。

高野辺地域での果樹倒木や三郷堰土地改良区中山揚水機場の冠水被害は、新聞でも報道されました。市内では他にも、道路の通行止めや排水ポンプによる対応など建設課関連が47カ所、公園の土砂崩れなど都市計画課関連が6カ所、マンホール溢水（水があふれること）やマンホール破損など上下水道課関連が11カ所、農業用水路への土砂の流入など農林課関連が24カ所あり、多くの被害が発生



▲災害発生直後の最上川河川敷 高野辺の様子

したことが報告されました。

説明を受けた後、農業被害が最も大きかった高野辺の現地を視察しました。

最上川と寒河江川の合流地点である高野辺の農地では、冠水により果樹倒木、雨よけテントの倒壊、土砂の流入などの被害が発生しました。

現地視察には経済建設常任委員会メンバー以外の議員も参加。被害状況等について農林課の説明を受け、その被害の甚大さを改めて確認しました。

現在は、災害廃棄物の撤去や漂流ごみの廃棄処分等は終了し、更地の状態になっています。

今後は、JAてんどうと共同で詳細な被害調査及び要望調査を行ったうえで、パイプハウ  
ス等農業施設の復旧や農機具の修理・再取得等の支援を行っていくとの説明がありました。



▲全て撤去され更地となった農地を視察

### 教育委員会委員の 任命に同意

教育委員会委員の井上正信氏（駅西）が、令和2年9月30日をもって任期満了になることに伴い、同氏の後任として新たに**工藤昭広氏**（南小畑）を任命することに同意しました。

### 人権擁護委員 5氏に同意

現人権擁護委員5氏が令和2年12月31日をもって任期満了になることから次の5氏を推薦することに異議なく同意しました。

◇再任 **松村昌子**（久野本） **設楽雅信**（貫津）  
**熊澤幸康**（窪野目） **鈴木伸一**（高嶺南）  
**後藤政浩**（高木）

# 意見書の提出

9月18日の本会議に委員会提出議案3件が提出され、採決の結果、うち1件が原案のとおり可決され、その他2件は賛成少数により否決されました。意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

## 《委員会提出議案》

▼**新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（抜粋・要約）**

新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。コロナ禍が地域経済に及ぼす甚大な影響により、地方自治体においては、本年度はもとより来年度以降においても、地方税などの一般財源の激減が懸念されるところである。国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の

事項を確実に実現されるよう強く要望する。

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、引き続き、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度においては地方税収の大幅な減収が予想されることから、減収補填債及び減収補填措置の対象税目について、地方消費税を対象とすることを初め、弾力的な見直しを図ること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図

り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。

5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響が及ぶような見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものと理解できるが、本来は、国庫補助金などにより抜本的に講じられる支援措置により対応すべきものである。よって、これらの特例措置は今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

（提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣）

## 議案等に対する議員の賛否一覧表

（賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致）

議案	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	氏名 会派	佐藤 孝一	五十嵐 浩之	野口 さつき	古澤 義弘	熊澤 光史	笹原 隆義	三宅 和広	遠藤 喜昭	佐藤 俊弥	渡辺 博司	武田 正二	水戸 芳美	遠藤 敬知	村山 俊雄	狩野 佳和	松田 光也	山口 桂子	石垣 昭一	鈴木 照一	水戸 保	伊藤 和子	山崎 諭
請陳第2号 加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度の創設の意見書提出を求める請願	清	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○	議
請陳第3号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出を求める請願	清	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	議
委員会提出議案第3号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出について	清	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	議
委員会提出議案第4号 加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度の創設の意見書提出について	清	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○	議

※ ○=賛成、×=反対、議=議長（議長は採決に加わらない。）

※ 会派：清=清新会、て=てんどう創生の会、共=日本共産党天童市議団、無=無会派

# 提出された議案とその結果

令和2年度第6回市議会定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

## 第6回定例会(8月31日～9月18日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
認第1号	令和元年度天童市一般会計決算	認定 (全会一致)
認第2号	令和元年度天童市国民健康保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第3号	令和元年度天童市用地買収特別会計決算	認定 (全会一致)
認第4号	令和元年度天童市財産区特別会計決算	認定 (全会一致)
認第5号	令和元年度天童市介護保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第6号	令和元年度天童市市民墓地特別会計決算	認定 (全会一致)
認第7号	令和元年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	認定 (全会一致)
認第8号	令和元年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第9号	令和元年度天童市民病院事業会計決算	認定 (全会一致)
議第44号	令和元年度天童市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 (全会一致)
議第45号	令和元年度天童市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 (全会一致)
議第46号	令和2年度天童市一般会計補正予算(第7号)	原案可決 (全会一致)
議第47号	令和2年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第48号	令和2年度天童市用地買収特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第49号	令和2年度天童市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第50号	令和2年度天童市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第51号	令和2年度天童市市民墓地特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第52号	令和2年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第53号	令和2年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第54号	令和2年度天童市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第55号	天童市市税条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第56号	天童市産業集積の形成に関する固定資産税課税免除条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第57号	天童市手数料条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第58号	天童市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第59号	天童市介護保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第60号	市道の認定及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第61号	天童市教育委員会委員の任命について	同意 (全会一致)
議第62号～議第66号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし (全会一致)
議第67号	天童市立小・中学校教育用タブレット端末等の取得について	原案可決 (全会一致)
議第68号	令和2年度天童市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 (全会一致)
議第69号	令和2年度天童市民病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第70号	天童市学校施設校内ネットワーク整備工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)

## 〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書提出について	原案可決 (全会一致)
委員会提出議案第3号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出について	否決 (賛成少数)
委員会提出議案第4号	加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度の創設の意見書提出について	否決 (賛成少数)

## 請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は2件で、所管常任委員会で審査した後、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度の創設の意見書提出を求める請願	全日本年金者組合山形県本部天童支部 支部長 瀬野幸男	環境福祉	不採択 (賛成少数)
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出を求める請願	山形県教職員組合 山形地区支部 支部長 東海林 仁	総務教育	不採択 (賛成少数)

# 議会のうごき

(7月20日～10月19日)

## ■7月

- 20日 県議会総務常任委員会行政視察
- 21日 天童市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部(以下「支援本部」)役員会  
東根市外二市一町共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 22日 新型コロナウイルス感染症に関する提言書を提出
- 31日 市長要請環境福祉常任委員会(天童市民病院の経営状況について、天童市民病院第2次中期経営計画の達成状況について)

## ■8月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 市長要請各派代表者会
- 18日 市長要請各派代表者会  
市長要請環境福祉常任委員会(山口児童館の認定こども園移行について、放課後児童クラブ臨時開所支援金について)
- 19日 支援本部全体会  
市長要請全員協議会  
山形県新庄市議会行政視察来童
- 24日 議会運営委員会
- 31日 議会運営委員会  
広報委員会
- 31日～9月18日 第6回市議会定例会

## ■9月

- 4日 議会運営委員会
- 8日 市長要請経済建設常任委員会(令和2年7月豪雨災害被災状況について)  
市長要請全員協議会  
全員協議会
- 14日 市長要請経済建設常任委員会(令和2年7月豪雨による被災者支援及び新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた住宅支援について)
- 15日 市長要請全員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 広報委員会

## ■10月

- 1日 市制施行62周年記念式典
- 2日 タブレット操作研修会
- 6日 市長要請環境福祉常任委員会(認定こども園運営事業者(公私連携法人)募集要項(案)について)
- 8日 広報委員会
- 9日 議会運営委員会  
各派代表者会
- 15日 広報委員会
- 16日 市長要請環境福祉常任委員会(インフルエンザ予防接種に係る助成事業の拡充等について)

## 会派構成の変更

令和2年10月1日より会派構成が変更になりましたのでお知らせします。

会 派	議員氏名
清新会	水戸 保 鈴木 照一 山口 桂子 村山 俊雄 遠藤 敬知 水戸 芳美 武田 正二 佐藤 俊弥 古澤 義弘 佐藤 孝一
てんどう 創生の会	渡辺 博司 遠藤 喜昭 三宅 和広 笹原 隆義 熊澤 光史
日本共産党 天童市議団	伊藤 和子 石垣 昭一
市民と歩む会	狩野 佳和 五十嵐 浩之

※会派に属さない議員：山崎 諭(議長)、松田光也、野口さつき

## 東根市外二市一町共立衛生処理組合 (クリーンピア共立) 議会報告

令和2年7月21日の組合議会第2回定例会で、令和元年度組合会計決算(下表)などが認定・可決されました。

歳入 (単位：千円 単位未満四捨五入)

区 分	決算額	主な内容
市町負担金	848,803	天童市：327,946 東根市：269,669 村山市：135,748 河北町：115,440
償還交付税	86,290	組合債返還のため 国から交付された額
使用料・手数料	808,328	ごみ・し尿処理手数料 など
国庫支出金	449	
財産収入	36,149	基金利子及び貸付料 など
繰入金	64,437	施設整備基金より 繰入
繰越金	67,351	前年度繰越金
諸収入	12,118	各種売却費など
組合債	470,900	一般廃棄物処理事業債
合 計	2,394,825	

歳出 (単位：千円 単位未満四捨五入)

区 分	決算額	主な内容
議会費	1,118	組合議員報酬など
総務費	332,908	職員給与、手数料 徴収費など
事業費	1,745,538	
公債費	228,049	
合 計	2,307,613	

## 新型コロナウイルス感染症に関する提言（3回目）

これまで天童市議会では、地域から寄せられた声を集約し、市対策本部に提言書として提出してきました。7月22日には、感染防止対策や経済・雇用対策などについて、3回目となる提言書を市対策本部に提出しました。

### 感染症防止対策について

- (1) 夏休みやお盆を前に、帰省自粛の呼びかけ等の広報を行うこと。
  - (2) 山形県の生活様式対応支援補助金の対象とならない場合でも、市独自に支援できないか検討すること。
  - (3) 感染拡大の防止が期待される接触確認アプリについて機能や利用方法等の周知を図ること。
  - (4) 窓口の混雑など、新型コロナウイルス感染防止のための対策を検討すること。
- 実施**
- (5) 非接触型体温計については、特に入手困難な状況となっている個人事業主のニーズに応えられる情報提供を行うこと。

### 経済・雇用対策について

- (1) プレミアム付商品券については、新型コロナウイルス感染症に関する市の生活支援と組み合わせるなど、地域での消費の下支えのため、発行する効果を最大限に活かすよう創意工夫すること。
- (2) 持続化給付金の期間延長の働きかけを行うこと。
- (3) 解雇や雇止め、休職となった従業員（パート、アルバイト含む）、就職内定取り消し者等への支援を行うこと。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減収した天童温泉旅館・ホテル等に対し、固定資産税や社会保険料の負担軽減に向けた市独自の支援を行うこと。
- (5) 今後支給が見込まれる介護職、保育士や児童クラブ支援員等への慰労金については、対象者の拡大や金額の上乗せなど市独自の支援も検討すること。

### 子育て支援等について

- (1) 学童保育の現在の基準（一人1.65㎡）では3密が避けられないため、改善に向け検討すること。
- (2) 特別定額給付金の基準日の4月27日以降に生まれた新生児に対し、市独自に一時給付金等の給付を検討すること。

### 相談窓口の設置について

- (1) 新型コロナウイルス感染症総合窓口や支援に関するワンストップ窓口を設置し、きめ細やかな対応を行うとともに、スピード感を持って施策を展開すること。
- (2) 里帰り出産が困難な状況下で、周りに身内がいらない妊産婦に対し、感染予防用品の支給に努めるとともに、オンラインによる出産、育児等に関する相談体制の構築を図ること。

### その他の支援策等について

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関する各種支援事業（国・県・市）の、パンフレットの早期作成と全戸配布を行うこと。
- (2) 生活困窮者、子育て世帯を対象にした市独自の生活支援策を検討すること。
- (3) 市内で感染が発生したため、事業者が急な休業を余儀なくされ、仕入れ材を破棄せざるを得なくなった場合の支援について検討すること。
- (4) ふるさと納税に返礼品を伴わない新型コロナウイルス感染症対策のメニューを検討すること。

上記の各項目を実行するための予算措置を講じること。

## 議会報告・意見交換会を開催します

議会の活動状況や特に議論になった話題などについて報告するとともに、地域の課題についての意見交換を行います。今回は、これまで参加が少なかった世代の方にも参加していただけるよう、日曜日の午前中に開催することにしました。中学校区ごと4会場での同時開催となり、地元の議員が出席します。

### 市立津山公民館（一中学区）

伊藤和子、水戸 保  
狩野佳和、遠藤喜昭  
熊澤光吏、古澤義弘  
五十嵐浩之

### 市立高掬公民館（三中学区）

石垣昭一、山口桂子  
遠藤敬知、渡辺博司  
佐藤俊弥、笹原隆義

11月8日（日）  
午前10時から



### 市立天童北部公民館（二中学区）

村山俊雄、水戸芳美  
武田正二、三宅和広  
野口さつき

### 市立天童中部公民館（四中学区）

鈴木照一、松田光也  
佐藤孝一

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、事前の申し込みが必要です。議会事務局までお問い合わせください。

# 市民の声

天童市の豪雨災害対応や

コロナに対する取り組みに  
関心があり、9月3日の本  
会議「一般質問」の傍聴に  
町内の方々と出かけまし  
た。議員の方々が市政の  
様々な問題に対して質問さ  
れ、市役所職員の方  
皆さんも真摯に答  
弁されている姿に  
市民の一人として  
熱意を感じありが  
たく思いました。

私が特に関心を  
持っている防災、  
防犯の質問に対する市の答  
弁の中で更に今後検討を重  
ねて欲しいと思ったことが  
二点ありました。

一つは避難所ごとの段  
ボールベッドの設置予定数  
です。現在は、各避難所に  
1台との答弁でした。7月  
の豪雨でも天童市内で、一  
か所に400名を超える避

## 市議会を傍聴して

飯田 長四郎  
(69歳・駅西)

難者が集まった所がありま  
した。避難の際には妊婦や  
足腰の不自由な方などが多  
数集まることを考えれば、  
1台ではあまりに少なすぎ  
ると感じます。数多く設置  
できるように早急に検討し  
て頂きたいと思いました。

二つ目は、犯罪や交通事  
故のない地域社会の構築を  
目指し、ドライブレ  
コーダーを搭載した車  
でパトロールなどをし  
てはどうかという提案  
がありました。京都府  
では既にこのような取  
り組みを行い実績を上  
げているとのこと。他  
市町村の効果的な先進事例  
を大いに活用して安心で安  
全なまちづくりをぜひ進め  
て欲しいと思いました。

最後に、新型コロナ感染  
症の対応、そして防災・防  
犯の改善に、議会と行政が  
一丸となり今後も積極的に  
取り組んでいただくことを  
期待しております。

## 12月定例会の日程 (予定)

インターネットで生中継します。

日	月	火	水	木	金	土
		12/1	2 請願 締め切り	3	4	5
6	7	8	9	10 本会議 (初日)	11	12
13	14 本会議 (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16	17 常任委員会	18 常任委員会	19
20	21 予算特別委員会	22 予算特別委員会	23	24 本会議 (最終日)	25	26

※請願の締め切りは、12月2日(水)正午の予定です。  
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。  
傍聴席は、感染症予防による3密を避けるため、定員を一部省かせていただいております。  
本会議はインターネットで生中継しております。市ホームページからご利用ください。

## 天童市議会 ギャラリー



議場に飛沫感染防止の  
パネルを設置しました。



## 編集後記

●県内で初めて新型コロナウイルス  
ウィルス感染が確認されて  
から、半年が経過しまし  
た。いまだ収束の気配が見  
えませんが、それでも乗り越  
えようががんばっている市  
民の皆様が大勢いらっ  
しゃいます。新しい生活様  
式を取り入れた中で感染防  
止策をしっかりと取りなが  
ら、日常生活を送らなけれ  
ばなりません。

●市民の皆様には満足とは  
言えないまでも、議会とし  
て支援策を行政に提言して  
まいりました。

●これからも一日も早い感  
染拡大の収束と経済再生の  
両面が喫緊の課題とら  
え、取り組んでまいります。

### 《広報委員会》

委員長 三宅 和広  
副委員長 伊藤 和子  
委員 佐藤 俊弥  
        菅原 隆義  
        古澤 義弘  
        佐藤 孝一